

明治ホールディングス株式会社

2026年6月1日

報道関係者各位

自治体と民間企業が連携した脱炭素に向けた行動変容プロジェクト 「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2026」がスタート！

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：松田 克也）は、2025年から参画している「チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム（Challenge Carbon Neutral Consortium）」（以下「CCNC」）※1において、「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2026」（以下「本プロジェクト」）を2026年6月1日に開始しました。

※1 生活者の脱炭素にかかる意識・行動変容を促すことで、企業の脱炭素の取り組みを加速させ、脱炭素社会を構築することを目的に設立されたコンソーシアム。株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）が主催し、メーカーや小売企業など21社で構成。

<https://www.greenmarketing-lab.com/ccnc/index.html>



本プロジェクトは、昨年実施した「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2025」※2を踏まえた取り組みです。全国16自治体等と協力し、小学生約91万人とその保護者を中心に、楽しみながら脱炭素について学ぶことで行動変容を促すとともに、その購買行動の要因と結果の分析を通じ、脱炭素社会構築に向けた理解深耕を目指しています。

※2 「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2025」実証結果詳細

<https://www.jri.co.jp/company/release/2026/0122/>

具体的な施策の一つとして実施する「エコラベルハンター 1.5°C大作戦」では、エコラベ

ルやカーボンフットプリント等の環境ラベルに関する学習サポートハンドブックを小学生に配布してコンテストの参加を促し、家庭や店舗でマークの探索を通じて、楽しみながら学習する機会を提供します。これらは、夏休みの自由研究課題や探究学習の題材としても活用でき、幅広い学習機会を提供することで脱炭素学習を促進します。

「エコラベルハンター 1.5°C大作戦」特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/genco2/event/2026ecolabel/index.html>



本プロジェクトで当社は、環境ラベルや明治グループで推進している「メイジ・カカオ・サポート（MCS）」※3を示す「MCS マーク」を学習サポートハンドブックで紹介することで、環境配慮型商品の普及に向けた啓発をしております。

今後も CCNC 参画企業と連携しながら、生活者の脱炭素や環境配慮に対する理解・共感の醸成を図るとともに、行動変容を通じた自律的な環境配慮型商品や脱炭素対応商品の市場創造への取り組みを推進いたします。そして多様なステークホルダーとの協働を通じ、明治グループで掲げる長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」※4で定めた2050年までにサプライチェーン全体で温室効果ガスの排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指しております。



※3 持続可能なカカオ豆生産を目指して、児童労働や森林減少など、カカオ豆の生産地域や農家が抱える社会課題の解決に取り組む明治のカカオ農家支援活動。

<https://www.meiji.com/sustainability/cocoa/>

※4 長期的な地球環境の課題を認識し、持続可能な社会に貢献するために2050年に向けて策定した長期環境ビジョン。「気候変動」「水資源」「資源循環」「汚染防止」の4つを活動ドメインとし、それぞれ

に達成目標を設定している。自社だけで達成することが難しいことからさまざまなステークホルダーと連携し、取り組みを進めている。

<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/>

以上

MOOOOOOORE SUSTAINABILITY は
人・社会・地球の健康の実現に向けた
明治グループのサステナビリティ活動
精神を表しています。

サステナビリティページはこちら↓

<https://www.meiji.com/sustainability/>

MOOOOOOORE
SUSTAINABILITY